



カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

1月号

令和6年1月 8日

校長 小堺 広司

学校教育目標

「自他の生命と人権を尊重し、
ねばり強くたくましい心豊かな
児童生徒を育成する」

～世界の架け橋となる子ども
たちの育成を願って～



出会いに感謝して 新しい自分に向き合う 3学期

本年もよろしくお願ひいたします

3学期が始まりました。1月4日(木)、
始業式後、最初の授業は小学部3年生書写で、
新年の願いを漢字一文字に表し、書初めをし
ました。稲垣日奏さん「始」、西原蒼太郎さん
「球」、私は「続」です。

「続」=継続・持続・接統・続行・存続、
継続は力なり。これまで子どもたちのために
学校の総力を挙げて、授業は元より、数々の
行事や体験的活動を実施してきました。

2024年は、これらの教育に磨きをかけ、
発展的な魅力ある授業、主体性を育む体験的
活動、良好な人間関係の醸成に向けて、リオ
日学の教育を継続してまいります。

<始業式に誓うこと>

始業式で中学部1年の西原菜南子さんが、
児童生徒を代表して3学期の抱負を發表して
くれました。

「私の3学期の抱負は、みんなと仲良くする
ことです。友達とのやり取りが、お互いに
助け合えるように、お互いに励まし合える
ように、お互いに支え合えるように、お互い
に成長できるように、お互いに笑顔でい
たいです。3学期は、新しい自分と出会い、
新しい自分と向き合えるように、お互いに
励まし合えるように、お互いに支え合える
ように、お互いに成長できるように、お互い
に笑顔でいたいと思います。」



<始業式校長講話より>
皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。
1月4日(木)、始業式後、最初の授業は小学部3年生書写で、新年の願いを漢字一文字に表し、書初めをしました。稲垣日奏さん「始」、西原蒼太郎さん「球」、私は「続」です。「続」=継続・持続・接統・続行・存続、継続は力なり。これまで子どもたちのために学校の総力を挙げて、授業は元より、数々の行事や体験的活動を実施してきました。2024年は、これらの教育に磨きをかけ、発展的な魅力ある授業、主体性を育む体験的活動、良好な人間関係の醸成に向けて、リオ日学の教育を継続してまいります。

9月1日(木)、始業式後、最初の授業は小学部3年生書写で、新年の願いを漢字一文字に表し、書初めをしました。稲垣日奏さん「始」、西原蒼太郎さん「球」、私は「続」です。「続」=継続・持続・接統・続行・存続、継続は力なり。これまで子どもたちのために学校の総力を挙げて、授業は元より、数々の行事や体験的活動を実施してきました。2024年は、これらの教育に磨きをかけ、発展的な魅力ある授業、主体性を育む体験的活動、良好な人間関係の醸成に向けて、リオ日学の教育を継続してまいります。

9月1日(木)、始業式後、最初の授業は小学部3年生書写で、新年の願いを漢字一文字に表し、書初めをしました。稲垣日奏さん「始」、西原蒼太郎さん「球」、私は「続」です。「続」=継続・持続・接統・続行・存続、継続は力なり。これまで子どもたちのために学校の総力を挙げて、授業は元より、数々の行事や体験的活動を実施してきました。2024年は、これらの教育に磨きをかけ、発展的な魅力ある授業、主体性を育む体験的活動、良好な人間関係の醸成に向けて、リオ日学の教育を継続してまいります。

○「聞くこと」から喜びを味わう（リオ日学紹介）

～ 全校朝会・教員の話より ～

2カ月に一度、全校朝会で、リオ日学の教員が順番に自分の専門分野や興味のあることを題材に、子どもたちに話をします。

学習指導要領（文科省）に、『聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと』の学習がコミュニケーション力を育て、論理的思考や他者の思いを受け止め自分の考えを伝え合える力となり、国際社会に通用する人材育成に結びつくことあります。

全校朝会では、「聞くこと」から話の内容を理解して、自分なこう考える、自分の生活に取り入れてみよなど主体的に物事に向き合い、意見が言えるようになることをねらいとします。

「話を聞く喜び」を味わうことのできる子どもに育ってほしいと願います。以下、話の抜粋です。

<10/ 2下田先生「なぜ勉強するのか？」>



問題を出します。

Q「くるま」を漢字で？

Q $3 \times 5 = ?$

Q 地図記号  はなに？

Q 元素記号 AL はなに？

Q 球表面積求める公式は？

Q Hoji e muinto quente.

を訳すと？

今皆さんが授業で学習している知識は何の役に立つのでしょうか？大人になって忘れてしまったこともあります。昔1日7時間クリスマスケーキにイチゴを載せるアルバイトをしました。どこかで役立つのでしょうか？私は、役立つかではなく、人生をより豊かにするものであると思います。今、リオ日学で算数を教える時、少し復習するだけで知識がよみがえります。ポルトガル語は、新たな出会いのきっかけになります。嫌だと思ふ教員なことが可能性が広がることもあります。自分の好きなことを極める勉強も大切です。リオ日学で学ぶことが必ずプラスに変わります。ここでしかできないことをやってみましょう。

<12/ 1日浦先生「日本人学校ってどんな所？」>



『日本人学校クイズ』を出します。

Q「世界に何校？」

(①124 ②94 ③75)

Q「何人通っている？」

(①24000 ②16000 ③12000)

Q「高校はある？」

(①ある ②ない)

Q「2番目に多い国は？」

(①ドイツ ②インドネシア ③アメリカ)

私たちの通うリオ日学と日本の学校の違いは、小中が一緒であったり、ポルトガル語や英会話の授業があることです。世界の日本人学校は94校（49の国とひとつの地域）あり、16000人が通っています。2011年には上海日本人学校に高等部もできました。中国には15校もあり、次いでドイツに5校（ベルリン・フランクフルト・ミュンヘン・ハンブルク・デュッセルドルフ）あります。私の友人はメルボルン（オーストラリア）・プラハ（チェコ）・ドバイ（UAE）で働いて、その様子を時々知らせてくれます。

皆さんに伝えたいことは、①だれでもが経験できることではない②だが、特別なことでもない③自分の人生の財産になる④それは自分の生活次第でもある⑤ブラジルでしか経験できないことをしよう、ということです。リオ日学の学校生活は、必ず皆さんの力になります。

○ 体験入学、みんな仲よし！



1月8日（月）～12日（金）、体験入学を実施します。小学部2年生3人、小学部4年生4人、中学部1年生3人、中学部2年生2人の計12人が参加してくれます。

1月8日（月）、歓迎会では、稲垣日泰さんが「リオ日学は、みんな優しく先生もわかりやすく教えてくれます。わからないことは何でも協力します」と話してくれ、仲間たちの緊張の面持ちが和らぎました。これから5日間、授業や休み時間、学校昼食会などを体験し、リオ日学の仲間たちと楽しく過ごしましょう。

○ フレンドタイムから（リオ日学紹介）

リオ日学では、月に一度フレンドタイムという学年の子どもたちが順番に企画を担当し、放課後全員で楽しむ行事があります。2学期に実施したふたつのフレンドタイムを紹介します。

・10月31日（火）担当：小学部5年生
宇宙旅行と題して、ピンポン（カップイン）、ラッキー（ボール）、トレジャー（宝探し）を楽しみました。案外難しく、やり始めると夢中になってしまいました。



・11月28日（火）担当：小学部3・4年生
的あて、紙飛行機飛ばし、ジャンケン列車を楽しみました。できそうでできないものほど、もどかしくも、またやりたくなるものですね。



<おせち料理を作ってみたら>

郵便局員だった父は年賀状の集配作業のため、大晦日の夕方家族全員でおせち料理を食べてから夜勤に出かけていました。「おせち料理は大晦日に食べるもの」と結婚するまで信じていました。子どもが生まれ、季節や行事の食事を大切にしたい、両親の思い出もよみがえるおせち料理は欠かせないものでした。

リオに来て初めての大晦日。おせち料理を作ってみたらどんな感情が生まれるかと、チャレンジしてみました。

なます・お煮しめ・伊達巻・蒲鉾・酢蛸・栗きんとん・海老焼物、たたき牛蒡をブラジル食材で手作りするため、魚市場・調理道具店・食材店を回って大きな出費と疲労、調理に2日かかってくたびれ、日本にいる妻の偉大さがわかりました。和食器に盛られたおせち料理に、少しだけ家族や両親の魂に近づけた気がします。